

新庁舎建設町民説明会 要旨

日 時 平成 31 年 2 月 17 日（日） 10：00～12：35
 場 所 山西小学校 体育館
 参加者 49 名
 町 村田町長、府川副町長、黒石政策担当参事
 事務局 企画政策課 4 名

概要

1. 開 会
2. 町長あいさつ
3. 二宮町役場新庁舎建設基本構想・基本計画（案）の説明
4. 質疑

参加者	<p>財政に不安がある中で、例えば学校やこれから空いていく施設を利用する考えがあるのか。空き教室もある中で、町民センター機能は体育館を利用することもできる。新しいものを造るのではなく、既存のものを活用する計画はないのか。</p> <p>役場より古い百合が丘保育園の話は一切出ていない。施設の修繕を繰り返して利用しているが、保育園を新庁舎に入れる考えがあるのか。</p>
事務局	<p>学校の統廃合については、現在教育委員会で検討しており、来年度以降、保護者に対して説明をしていく。庁舎は、大規模災害に備えてスピード感を持って進めている。</p> <p>公共施設再配置実施計画で、町民センターも課題と捉えており、学校の統廃合を見据え、廃止になる学校があれば、リノベーションし機能移転していく。</p> <p>百合が丘保育園の老朽化は課題として捉えているが、耐震化は実施したため、安全性は確保されている。現時点では新庁舎に保育園を組み込むことは検討していない。</p>

参加者	<p>建設費に関して、2月の広報を見ると床面積単価 45 万円となっている。面積は約 10% 増えているのに対して、㎡単価は 50% 増えている。アンケート結果に基づいて免震構造にしたとあるが、免震構造にすることによって 10～15% のコスト増となると資料にある。免震構造だけで床面積単価が 50% も上がるはずはない。何に基づいて算出したのか。なぜ安い単価を取らずに平均を取るのか。</p>
事務局	<p>45 万円の根拠について、近年免震構造で建替えをした庁舎の㎡単価の平均で示している。具体的な設備などを決めて積算したものではないため、45 万円は、あくまで概算事業費を算出するため設定したもの。</p>
参加者	<p>町民は何に基づいて判断すればよいのか。我々が家を建てる場合、貯蓄額、返済可能額を</p>

	<p>基にローン額を設定する。それと同様に建設費を決めていくべきではないか。町が返済できる額で建物を造るのが考え方ではないのか。免震装置の補修費やメンテナンスコストは高額になるため、3階建ての庁舎で意味がどれだけあるのか疑問である。アンケートも、免震構造にしてほしいという回答ではなく大きな間違いである。</p>
事務局	<p>全体の予算は、どのような建物かによって変わるものであり、財政も含めて金額については計算をしていく。</p> <p>今回、免震構造でお示ししているが、皆さんのご意見をふまえて、しっかり検討し、判断していきたい。</p>

参加者	<p>広報にのみや2月号と今回の説明会の資料では内容が変わっていないが、どちらも免震構造を採用する前提に見受けられる。まずは地質調査を行って支持層までの深度や液状化の可能性等を調査するべき。その結果と合わせて建物の階層なども踏まえ、耐震構造か免震構造の判断がなされるべきだと考える。免震構造ありきで計画が進められている。建物の規模や高さ等を考慮し、どの工法を採用するか、具体的に示したうえで説明会を開催してほしい。</p> <p>現庁舎の耐震性が不足していることは理解しており、建替えることは決してやぶさかではなく、住民としてもお願いしたいと思うが、庁舎や学校も含めた駅前再開発について、将来この一帯をどう考えているのか検討したうえで町民説明会を開催してほしい。</p>
事務局	<p>地質調査に関しては、後年度に予定しているが、建設予定地は、過去に神奈川県住宅供給公社がケア付き高齢者住宅を予定した際に実施した地質調査結果があり、支持層は10～15mの深度で確保できるというデータもある。ただし、建設する建物が変われば杭の打ち方等も変わってくるため、新庁舎を建設するための地質調査は実施する予定。また、液状化も、過去の調査結果により、しないことは確認済みである。</p> <p>新庁舎の階数は、現時点では3階程度を予定しており、15mの高さ制限が設けられているが、3階建ての建物であれば問題ない。</p> <p>新庁舎へ移転後の現庁舎の利用方法については、町民センターや武道館と一体的に考えるが、早急に考えるべきというご意見として捉えさせていただく。</p> <p>今回の説明会については、新庁舎建設基本構想・基本計画(案)ができたため、町民の皆さんに説明をさせていただくことを目的としていたが、次の基本設計に進んでいく段階でも、いろいろな形でご意見を伺いながら進めていきたい。今回の説明会だけがご意見を伺う場というわけではなく、今後も丁寧に実施していきたい。</p>
参加者	<p>新庁舎の階層は3階程度としか考えていないということであれば、免震構造は無駄。耐震構造で十分対応可能である。</p> <p>過去のデータは確かに参考にはなるが、現在計画しているところで地質調査を実施し、地盤の確認をする必要がある。事業全体の見直しを考え、そのうえで町民説明会を実施してほしい。</p>
事務局	<p>いただいたご意見は今後の参考にさせていただきたい。説明会についても、もう少し具体的な内容までを検討したうえで今後の実施を考えていきたい。</p>

参加者	<p>もともと学校の耐震化を優先してきたと書かれていたが、学校は建替えておらず、耐震化のみとなっている。役場も学校と同じような耐震改修でいいのではなか。</p> <p>ハザードマップ上で災害については既に想定されているため、災害が発生した時には想定外という言葉では言い逃れできない。庁舎建設地としては不適切なのではないか。</p> <p>高度情報化社会への対応について書かれているが、今後町民が町役場に来なければ受けられないサービスなどは無くなっていく。その状態でこのようなハード面が必要なのか。新しい建物を建てなくても十分対応できる。</p>
事務局	<p>現庁舎の耐震改修の可能性は昨年の調査の中でも検討した。現状でも狭い中での執務になっており、耐震改修を実施した場合には執務スペースが更に限定されてしまい、今まで以上に行政機能を分散化しなければならなくなってしまう。</p> <p>町民の方が役場に来なくても用事が済む時代が来るのではないかとすることは、しばらく時間がかかるのではないかと想像しているが、現時点で坂を登ってくるのが非常に大変だというご意見も過去からいただいている中で、耐震性や立地の問題を総合的に勘案し、庁舎の移転を決めたというのが昨年度の調査結果である。</p> <p>ハザードマップの問題は、町営第一駐車場は浸水想定1m未満の区域となっていることは承知している。これは1時間あたり94mmの降雨があった場合に葛川が越水してくるということで想定されている。葛川の河川整備を神奈川県に要望していくことと合わせて、1mの浸水を想定しながら、建物自体を嵩上げしていくことで、対応した庁舎としていく。</p>
参加者	引き続き検討をお願いします。

参加者	今回の計画で調整池に駐車場の配置となっているがテニスコートはどうするのか。
事務局	現時点では、テニスコートについては移設ではなく廃止することを検討している。
参加者	位置的にはすごくいい場所にあり、有効的に使っている。健康増進やスポーツ振興の面で、子ども達のレクリエーションにもなるため、廃止には納得いかない。納得できるような明確な理由を説明してもらいたい。
事務局	現時点では廃止という考えをお示ししたが、ご意見を伺いながら考えていきたい。明確な廃止の理由というよりもこの先に検討させていただきたい。

参加者	<p>地方債の返済について、事業費に対し75%は借金という説明だったが、町債の残債総額が70億円あり、それが95億円にまで増えるとなっている。借金の返済について、どういう手法で返済することを考えているのか。借金をすることはやむを得ないとしても、町の遊休地を売却し財源に充てることや、優良企業を誘致することで法人税収を確保すること、企業が来れば地元町民の雇用対策の一助にもなるのではないかと。依存財源だけに頼るばかりではなく、依存財源を縮減していくために身を削ることも必要ではないか。遊休地を売却することを提案すると町民の皆さんは反対するが、財源が必要なこの時期に、こういう手法で一部の財源を確保するとなれば、比較的に理解する方が多くいるのではないかと。今がチャンスだと思う。</p>
-----	---

事務局	町には様々な財産があり、土地もある。依存財源だけをあてにするのではなく、今あるものを有効活用し、売却や貸付など財源を生む方法を考えながら、借入償還をしていかなければならないため、負担が軽くなるように検討していきたい。
参加者	建設費の償還について、町債を発行してから5年間で5億円ずつで推移するようなグラフとなっているように見えるが間違いではないか。
事務局	庁舎建設に係る町債については、30年償還で計算した場合毎年7,000万円の償還となり少しずつ減少していることを示したものである。5億円ずつで推移しているものではないということで確認していただきたい。

参加者	<p>この説明会には3回全てに参加しており、町民の皆は多額の借金をすることで財政的にも不安があると言いつけているのに、町側はこの部分について答えていない。30年後の生産人口は今の半分になることは、この2倍に感じるようになる。</p> <p>庁舎建設に関して、防災拠点と言っているが、財政は住民福祉、増進のためにあると地方自治法にも書かれているのに、繋がりがわからない。財政は町の考え方が一番出るところだ。防災拠点と言っているが、どういった考え方があって、これを最優先にしなければいけないのか答えていただきたい。ハザードマップで不安があると示されており、7年前には実際に避難した方もいた。実際にあの場所が、本当に住民が喜ぶ安全の拠点になるのか。アンケート結果では、新庁舎に求めるものとして避難場所や備蓄倉庫を確保してほしいと言っていることに対し、それについての説明が全然ないということもおかしい。本当にまちづくりの拠点、防災の拠点にするために最優先にするのであれば、そこをはっきりとどういう理由で、どういう考え方で、最初に進めなければいけないという説明をしていただきたい。</p>
町長	<p>行政の責任としてやらねばならないことを後回しにしてきたと思っている。その責任を感じ、今回ご提案させていただいた。</p> <p>現庁舎の耐震補強についても検討したが、耐震補強をする場合でも多額の費用を要し、今より更にスペースが狭くなってしまうことで、第2庁舎などを新設しなければ行政サービスを維持できない状況になってしまう調査結果が出ている。そのうえで、方法を検討し、移転の方針をお示した。現庁舎の耐震性不足は、阪神淡路大震災の後に実施した耐震診断の結果で指摘されていたが、学校の耐震化を優先的に進めてきたこともあり、この時点まで後回しになってしまった。それと共に、多額の費用が掛かる事業であるため、なかなか進めることが困難であり、その時々首長が後回しにしてきてしまった経過はある。このまま放っておくわけにはいかない状況であり、移転をして、今後の職員数の減少などもふまえた最低限度の庁舎としていきたい。また、今までできていなかったこととして、庁舎整備のための基金を計画的に積んでこなかったことがあり、行政の責任として、代表して反省している。これまでの何十年間で積み立ててこなかったことに町として瑕疵があると思っている。</p> <p>ハザードマップについても当然承知しているため、危険性がないように配慮したうえで庁舎整備を実施してく。今回の基本構想・基本計画(案)では近年免震構造で庁舎の建替</p>

	<p>えをした自治体の平均値として 45 万円の床面積単価により概算事業費を算出しているが、今後も検討していきたい。いずれにしろ、ずっと後回しになってきたものをいずれ誰かがやらなければならないということで今回ご提案させていただいた。ただ、将来に向けて町が何もできなくなる財政計画で進めるつもりはないので、今後しっかり練っていかなければならない。</p>
参加者	<p>まちづくりの拠点、防災の拠点とは、今後こういう考え方でまちづくりを進めて行く、という考えがあるから言っているのではないのか。緊急性があるのであれば避難措置としてプレハブを建て、その中で行うことも可能ではないのか。</p> <p>東大果樹園跡地にしても年間貸し付けていたし、ラディアン裏の土地を 22 億円で購入したため、東大果樹園跡地の購入時には起債制限にかかる可能性があったために、4 億 5,000 万円を現金で支払いをした。そういうデータがある町で、今後、新庁舎整備を最優先で行うことをどのように考えているのかを示してほしい。</p>
町 長	<p>防災の拠点が新庁舎だけということではないが、災害が発生した直後からの対策、復旧に向けての対策を指揮する拠点として機能しなくなってしまえば、様々な対応に遅れが出てしまうことが、近年の災害による被災状況を見ると如実に分かる。もちろん各地域の拠点に備蓄品や器具なども置かせてもらい、それぞれで防災計画はあるが、だからといって役場が潰れるかもしれない状態のまま放っておいていいという議論にはならない。</p> <p>将来に向けての負担は、過度になるようなことがないよう十分に考え、町が立ち行かなくなるような計画を立てるつもりはない。また、一時的にプレハブを建てるということについては、そうするためにも相当額の費用が掛かり、二重投資となってしまうということもふまえた中で、市町村役場機能緊急保全事業を活用しながら、無理のない範囲において新庁舎の整備を決断させていただいた。</p>

参加者	<p>今の状況だと、新庁舎を建てることが決まっているような説明会だと感じる。基本設計をするにあたり公設直営方式で進めて行くとあり、一番スピード感を持って進められる方式だと思うが、基本設計の依頼の仕方にも様々な方法がある。その辺の進め方を現在どのように考えているのか。</p> <p>現在オリンピックなどでも公共建築の金額が見込んでいたものよりも上がるということが分かっている、先程の平均値 45 万円も、実際にはもっと上がるのではないかと考えている。先に進んで後戻りができない状況になった時に単価が上がってしまった場合はどのように対応するのか、現時点で考えているか。</p>
事務局	<p>現時点では、従来方式で、基本設計、実施設計は別々に発注することを考えている。町が契約する場合、入札が一般的であるが、最近ではプロポーザル方式として事業者へ提案をさせる方式も行っているため、発注方法についてはまだ確定していない。プロポーザル方式も念頭に置きながら考えていきたい。</p> <p>金額については、今後どういう機能や設備を導入し、どんな建物になるかが決まっていく段階で、ある程度の金額が出てくるので、その時点で取捨選択できるように、皆さんにお示ししながら全体の費用についても説明させていただきたい。</p>

参加者	具体的に何も決まっていない状況だと思うが、平成 32 年度に実施設計というスピード感でいくと、時間が足りない。現時点で設計事務所も決っていない状況の中で、1 年でそこまで進捗するという見込みはある程度立っているのか。
事務局	今回の説明会やその他でも様々なご意見を伺っていることをふまえると、平成 31 年度中に基本設計が終わらないという可能性は十分あると考えており、今後、説明をしながら少し後ろにずれていくことも考えていかなければならない。基本設計をふまえて実施設計を行うため、例えば実施設計が平成 32 年度の後半になっていくことも考えられる。市町村役場機能緊急保全事業については、平成 32 年度中に実施設計に着手したものが対象となるという条件があるため、平成 32 年度中の実施設計への着手は町も進めていきたい。

参加者	<p>町長の新庁舎の必要性の説明は何度も聞いているが、町民はそういうことを問うているのではない。新庁舎が必要と提案され、具体的に基本構想・基本計画（案）が示されたことで町民の意見を聞く。そうやって庁舎だけが突っ走っていいのだろうか。町民センターはしばらくそのままと言うのが安全性は大丈夫か。地域集会施設はどうなるのか。トータルで町を考える時期であり、新庁舎の必要性について町民も納得したいと思っているはずである。新庁舎を整備したいという想いと、有利な交付税措置に間に合わせたいという想いが鮮明になってきたが、それでいいのだろうかという意見が出ている。</p> <p>オリンピック前後の材料費の高騰、人員確保が困難な状況は分かっているのにシミュレーションをしておらず、事業費が高くなったらその時に考えるという計画では町民は納得しない。その説明をきちんとすべき。どのタイミングでどう検討し、どのように皆の意見を反映させてものを作るのか、まったくイメージが湧かない。これだけの大きな事業でこれだけの町債を抱え、まだまだやるとこがたくさんある中で、それでもなんとかなるから庁舎だけを整備するというだけでは、町民は納得しない。納得できる説明をしてほしい。納得できる計画を立ててほしいということをお願いしているだけである。</p>
町 長	<p>町の公共施設再配置の計画はあり、学校の統廃合の計画についても現在動いている。その計画に基づいて進めていくことになるが、一つひとつ安全性を確保するため、将来に有効な公共施設を使っていくため、また、学校施設についても、子ども達が学習し育っていくため、現在は並行しながら進めている。</p> <p>町としては、一つひとつの案を作り、それをお示しして議論していただいている。なかなか全てをご理解いただけていないとは思いますが、今までの公共施設再配置の計画も都度お示ししながら進めてきた。他の施設を後回しにしているわけでもなく、学校施設も考えながら進めているので、この時間で全てを説明しきることはできないが、本日は新庁舎建設基本構想・基本計画（案）についてご理解いただきたいということで説明会を開催させていただいた。その中で、町民の皆さんが疑問や不安に思っている部分をしっかりと受け止めて、今後基本設計に入っていく際にも、皆さんの声を盛り込みながら進めていかなければならない。ただ、現庁舎の現状として、白紙に戻すという時期ではない状況まできているので、行政の責任として確実に前に進んでいかなければならない。今後は、公共施設再配置・町有地有効活用実施計画を含めて説明しながら進めていきたい。</p>

参加者	今の説明でいくと、これだけ意見や疑問が出ている中で、町が計画しているとおりの基本構想・基本計画（案）は3月末で（案）を取り、進めるということか。
町長	もちろん精査しなければならない部分はあるが、いただいたご意見を基に修正しながら改めてお示しし、基本構想・基本計画を策定したいと考えている。その中で、検討しなければならない課題もいただいているので、基本設計の中でも専門家の意見を聞きながら引き続きしっかりと精査し、検討を進めていく。そういうことを含めて、次へつなげていきたいと思っているが、基本設計に進んだとしても、途中で説明し、ご意見をいただくというプロセスをしっかりと考えながら進めて行きたい。
参加者	基本構想・基本計画（案）で提案されている建物構造が免震となっているが、検討の結果、耐震になった場合、計画案は変わることになる。そういうことであれば計画は決定できないのではないか。
事務局	今回基本計画（案）の中で様々お示ししているが、この説明会を含め、町民検討会やパブリックコメントを実施した中で、免震が本当に必要なのかといったご意見が多々ある。今この時点で免震なのか耐震なのかを決定するのではなく、しっかりとしたデータの裏付けをもって検討していくということで基本計画を修正することも考えられる。それをいつ決定するのかは、基本設計の中で、比較検討の結果が分かる状態で最終的に判断することも考えている。様々なご意見をいただいた中では、基本構想・基本計画の段階で免震と耐震のどちらにするということは決められないと思っているため、決定は基本設計に委ねていくということが今の考え方である。

参加者	町民アンケート調査結果で、新庁舎に求めるもの、重要視するものの1番に防災の拠点として安全・安心であることとなっているが、実際に災害が発生した時には庁舎は防災拠点にはならない。実際に活動するのは、各地域の集会施設が拠点となるが、一部施設では耐震基準を満たしていない。やっていることの順番が逆ではないか。こういうこともあるので、庁舎問題については住民投票で賛否をとってもらいたい。
町長	各地域集会施設の老朽化や耐震基準を満たしていない施設があることもしっかりと課題として捉えている。地域の再編とあわせ、4月以降には各地域と話し合いながら進めていきたい。施設を一度に整備するというは無理であるが、老朽化が激しいところ、現状のままでは厳しい施設は把握しているので、一つひとつしっかりと考えていきたい。それと並行して、役場庁舎の問題をこのままにしておくわけにはいかないなので、無理のない庁舎整備を進めていきたい。

参加者	新庁舎建設予定地は町内でも軟弱な地盤であるということ。何年も前に見た時、ラディアン周辺の地面は波打っていた。やはりいくつかの地震や水害を考えると、望ましくない。平成34年度にはラディアンの大規模改修が予定されていることも、その原因ではないか。そういう部分でも町民にどのような負担が掛かるのか不安なため、もっと寄りそった形での提案を求めたい。 今年の3月末で東大果樹園跡地が貸出期間を終えて町に戻るが、協議会にもコンサルタ
-----	---

	<p>ントが関わっていて、東大果樹園跡地で利益を生むことができるのではないかという話も出ている。現在活動している団体が無料で使用しているが、今後は利用料を支払う方向になっていると伺った。子ども達の団体や、高齢の方が入っているサークルなどからお金を取る一方で、何十億円も借金をしていくというお金の使い方に不安を感じる。子ども達を育てていき、高齢の方も安心して暮らしていけるような町にしてほしい。こういう不安を覚えるようなお金の使い方は避けていただきたい。様々な意見がある中でスピード感を重視するのではなく、立ち止まる勇気も持ってほしい。</p>
事務局	<p>地盤は、過去に実施した地質調査の結果では、支持層が 10～15mのところにあると確認ができているため、表面的に軟弱という部分はあるかもしれないが、問題ないと認識している。実際に新庁舎を建設する際には、改めてしっかりと地質調査を実施する。</p>
町 長	<p>ラディアン奥側のタイルが盛り上がっているところは承知している。あれは地盤ではなく建物に起因して起こっていることである。ラディアンの大規模改修は、建築年数が 20 年を経過しているため、外壁や内部の機器類を主としたものをご理解いただきたい。庁舎は、後の世代に過度な負担となるようなものをつくるつもりはないので、慎重に検討していきたい。</p> <p>いろいろな費用対効果を比較した中で今回の方針をお示ししたという状況もある。今後手続きはいろいろな場所で行える世の中になっていくと思うが、一方で相談をお受けする場として、ワンストップサービスを希望するご意見もある中では、今の状況は不便である。今後も改善点は出てくるが、受け止めながら庁舎整備を考えていきたい。</p>

参加者	<p>私は新庁舎への移転は賛成である。財政が問題なければ移転した方がよい。町長以下、役場職員は町が破綻するようなことは計画しないと思うので、それを信じて賛成する。ただ、調査費として 1 億円程の埋蔵文化財や地質調査がこんなに掛かるのかは疑問である。あと、人口が減少している中で、どうしたら増やすことができるかを考えると、工場を二宮町に誘致することは難しい。駅前の都市計画をきちんとしてもらい、整備して若い世代が住みたいと思えるようなまちづくりをして人口を増やしていくように総合的に考えるべきである。電車で東京へ出るにも 1 時間以上掛かるが、自分が通勤していた時からちっとも縮まっていない。JR と相談して少しでも縮めるようにするなどして、住みやすい町にすれば、環境が良い町なので人口は少しずつでも増えていくのではないかと。新庁舎については、いつかはやらなければならないので、町が破綻しないように実行してもらえばそれでいい。</p>
町 長	<p>ご意見として受け止めさせていただく。</p>

町 長	<p>先程の東大果樹園跡地の件について回答が漏れていたが、4 月からはこれまで活動されていた皆さんで運営組織を作り、管理運営をしていくようになるが、そこで利益を得ようという考えではなく、運営するための整備や草刈りなどの必要経費について、全てを税金で賄うのではなく、適正なある一定の負担をしていただきながら運営していくためのものである。</p>
-----	---

参加者	<p>たしかにそれぞれが別物であるということは理解した。利用料は適正に徴収していくことは正しいかもしれないが、守られるべき子ども達の活動に、無料で使用できる東大果樹園跡地を配慮してもらえたことが大変ありがたかった。子ども達の体力づくりや高齢の方の健康増進は大事なことであり、そこから町として発展していく。せっかく活動してきた場所も、どういった経緯があったかなど、町民に対して周知が足りていない。大きい市や県とは違い小さい町なので、いろいろなことを見て、聞いていってほしい。</p>
-----	--

参加者	<p>市町村役場機能緊急保全事業について、20年償還の場合には年間3,000万円の交付税措置が受けられるということだが、20年間で6億円の交付税を得るためにどれだけものを失うかということも考えてもらいたい。財政のことやハード面についてたくさんの意見が出たが、無理なやり方をすると町民の気持ちが離れると思う。</p> <p>新庁舎がまちづくりの拠点、防災の拠点になると言っていて、新しいものができたら働いている人の気持ちも一新することになるのか。現庁舎にいても変えられることはたくさんあり、今のままでもワンストップサービスはできる。</p> <p>司令塔を作ることが重要なのではなく、同時並行でいろいろな施策ができていないといけない。町は潰れないと参加者が言っていたが、財政見通しを見ると今後もずっと臨時財政対策債をたてると書いてある。町は臨時財政対策債については交付税に算入される部分があるかもしれないが、大局的に見ると全部若い世代の負担になるということである。安易な財政計画は本当に避けていただきたい。昨日からの説明会でもいろいろなアイデアが出ていたので、ゆっくり考えていけば良い計画ができていくと思う。見直すことや立ち止まって考えることもやっていただきたい。</p>
-----	---

参加者	<p>昨日からの全ての説明会でのやりとりを聞いていて感じることは、防災も含めた他の施設のことやまちづくりのビジョンなど、大きな内容の質問に対して、論点がずれている。そのずれに気付いていないのであれば、まちづくりを本気で考えている町民の気持ちが伝わっていないと思え、すごく悲しいことである。</p> <p>他の施設のことやまちづくりについて、この場では説明しきれないと言っており、確かに各施設の個別の部分については話しきれないと思うが、こういう町にしたいというビジョンはいつでも話せるのではないのか。その熱い想いをぜひ聞かせてもらいたい。</p>
町長	<p>現在も未来を担う子ども達のために様々なことを行っており、個人の幸せはそれぞれあると思うが、この二宮町の中で、それぞれの立場の中で暮らしていくうえで実感でき、町が将来にわたって持続可能な、住んでいる方が安心して暮らせるようなまちづくりを、一つひとつ優先順位を付けながら進めていく責任がある。</p> <p>一方では想定できない部分であったとしても、災害も無視することはできないので、安心感を持ってもらえるようなまちづくりを進めていく責任を感じ、今回の新庁舎整備や公共施設の再配置、学校の統廃合を、将来にわたっての計画をしっかりと示しながら、できるところを着実に実行していきたいということに尽きる。</p>

参加者	<p>特に子どもを抱えている母親としては負債に関してはこの先すごく不安である。</p> <p>スポーツに関しても、テニスコートや東大果樹園跡地の話もあったが、子ども達がスポーツをすることができる環境を作ってもらいたい。また、現庁舎は坂の上で利用しにくいということもあって平地のラディアン周辺を検討していると思うが、介護が必要な方、要支援で生活されている方は平地でも歩けない方がいる。そういう想定サービスも検討した方がよい。現在の計画地に建設するのであれば、水害に関してもそうだが、土砂災害についてもデータを示していただきたい。概算事業費の内、解体工事はどこの解体を指しているのかが分からないので説明願いたい。町民センターや現庁舎を残すのであれば、どのように活用するのも検討していただきたい。</p>
事務局	<p>解体工事に関しては、現庁舎の解体工事を指している。先程の説明の中でも触れているが、現庁舎、町民センター、武道館などを一体的に考えるべきであるということで、今後の利用方法については考えていきたい。</p>

参加者①	<p>今まで話を聞いていて、新庁舎反対という意見もあればラディアン周辺に建設すべきという町民の声もあると思う。現庁舎は、平成8年の耐震診断を実施した時に、大地震には耐えられないという結果が出ており、現庁舎を存続していくには無理がある。これは村田町長以前の町政の時から大きな課題である。</p> <p>国立小児病院跡地にしても、15年前に購入しておいて未だに計画がなされていない。東大果樹園跡地を購入したのはいいが、目的のものは実っていない。</p> <p>庁舎のアンケートの結果では、防災上の機能を重要視することが求められており、今後30年の内に80%の確率で大地震が発生すると予測される中で、町の災害対策本部の機能を確保しないと、各地区において指令が取れず、町民の安全・安心は保てない。各地区では、自助はもとより共助の面において、防災に相当力を入れているが、町と一体となって災害に対して準備をしないといけない。</p> <p>東大果樹園跡地を利用する団体は、財政が厳しい状況においては受益者負担という考えが無ければいけない。将来的に人口減少が進み、2040年には生産人口と65歳以上の高齢人口がだいたい50%ずつとなってくると想定されているが、その辺は町も財政上十分検討しているため、新庁舎の整備は進めていってもらいたい。ただ、お願いしたいことは、これから財源が無い中で地域活動の補助金等は、十分精査して進めてほしい。</p>
参加者②	<p>意見ではなく、訂正を求める。東大果樹園跡地の受益者負担を図ってほしいと言っているが、そうではなく、あの土地は将来的に住民組織で管理運営し、資金も捻出しなければならない。そのため、利用者から利用料を徴収しないとやっていけないという現状がある。他の施設等が受益者負担といって利用料を徴収しているものとは全然違う。今利用している人達は熱い想いを持って利用しており、この場所が無くなってしまっただけでは困るから維持したいということで、今後自分たちで東大果樹園跡地からお金を生み出しながら維持管理していけるように、企画政策課の職員とも一緒になって様々な知恵を絞りながらやっている。それを受益者負担でやるからというような言い方をされたら非常に頭にくるので、そこは訂正してほしい。</p>

参加者①	受益者負担ということは訂正する。将来町が東大果樹園跡地について計画的な要素をもっていないということであれば、今後運営していく方たちで、十分その考えを生み出していただきたい。今後は、未利用地については売却することもひとつの決断だと思っているので、その辺も進めて検討してもらいたい。
事務局	ご意見として承る。

副町長	有意義なご意見をたくさんいただいた。今後、町として、町民検討会でのご意見、町民説明会での皆さんのご意見、3月には議会特別委員会が開催されるため、それらの意見を十分ふまえて基本構想・基本計画（案）を修正し、基本設計の前には、また町民の皆さんに説明会を開催することを計画している。今後とも建設的なご意見、ご協力をお願いしたい。
-----	---